

---

# かみさま

新宿めでの

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

かみさま

### 【Nコード】

N8821V

### 【作者名】

新宿めでる

### 【あらすじ】

大学の課題で書いた、アダムとイヴの物語に基づいた短編です。

かみさまは退屈だったので、ごみを集めてアダムを造ってみました。アダムの体はすべすべした肌で覆われていて今まで造った他のどの生き物とも違っていました。

アダムは日本の足で歩く事ができ、かみさまと会話する事もできました。

かみさまは少し楽しくなりました。でもだんだん飽きてきました。ある日、かみさまがぼんやりしていると、泣き声が聞こえてきました。

そこを見ると、アダムが一人で泣いていました。

どうしたのか尋ねると、「一人が寂しくなった」というのでした。かみさまはまた楽しくなりました。

よしよし、と思ってアダムの肋骨を抜き取りました。

そしてさっさともう一人、アダムと同じ生き物を造りました。

しかし多少めんどうくさかったので、少し手抜きをしました。

それはイヴといました。

アダムは喜びました。

今まで自分が知った全ての事を、アダムはイヴに教えました。

それからアダムはイヴとばかり喋るようになりました。

アダムとイヴは四六時中一緒にいました。

しかしある日のこと、アダムがすやすやお昼ねしている間に、イヴは一人でふらふらと歩き出して辺りを散歩しました。

すると一本の林檎の木が見えました。それは金色でした。

かみさまに、常から「食べてはいけないよ」と言われていた果実でした。

イヴは林檎の木を見上げました。どうしていいかわかりませんでした。

かみさまは目ざとくイヴの姿を見つけました。

声をかけようとして、少し考えて、蛇に変身しました。

イヴがぼんやりしていると林檎の木を蛇が這いました。

「林檎が食べたい?」

と蛇が言いました。

「どうしたらいいかしら。」

イヴが言いました。

「食べてはいけないと言われてるのだけど、どうして駄目なのかよくわからないの。」

それは蛇にもよくわかりませんでした。というより、忘れていました。

「林檎が食べたい?」

また言いました。

「どっちでもいいわ。」

とイヴが言いました。

でも目だけはずっと金色の果実を見つめていました。

「とってきてあげようか。」

返事も待たずに蛇はそう言って、あっという間にイヴに林檎を手渡しました。

「キレイね。」

「キレイだね。」

「キレイね。」

イヴはしゃくしゃくとそれを食べだしました。そして全部食べてしまいました。

「もう1つちょうだい。」

蛇はもう1つ林檎を取ってきました。

イヴはまたしゃくしゃくと食べましたが、少し考えて一口で止めました。

「アダムにもあげよう。」

それからイヴはアダムを起こして、林檎をあげました。

2人がまた木の下に行くと、そこにはまだ蛇がいました。

こうして2人は全ての実を食べてしまいました。

「蛇さんありがとう。」

2人が振り返るともう蛇はいませんでした。

かみさまはまた元に戻って2人を観察しました。

よく考えたらあの林檎は知恵の実といって、他の生き物には絶対に食べさせないようにしていたものでした。

かみさまはまあいいかと思いました。

きつとこの先しばらくは退屈しなかりうと思ったからです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8821v/>

---

かみさま

2011年10月9日14時42分発行